

始まっています 地域内交流!

子ども会との連携で地域内の活性化を図る! 「日生団地いきいきサロン」

「日生団地いきいきサロン」は、子ども会との連携を活発に行っているいきいきサロンのひとつといえる。それは今年度の実施した行事にも顕著に現れている。

今年度行った大きな行事の一つにハロウィンがある。子どもたちが仮装をして、各家庭にお菓子をもらいに訪れる。「子どもが遊びに来るだけでも、元気をもらえらると思っただけです」と語るのは区長の矢幡さん。「日生団地は子ども会と自治会が連携して地域内の行事を行うようにしているんです」と語る。また、芋煮会ともちつき大会と一緒に行った行事には、およそ110人も参加者があった。「うちの地区は、行事のたびに地域内の人が自分で育てた野菜を持ち寄ってくれるので、とても助



今年のハロウィンの様子

かって
いるん
です。
また、
結婚な
どで地
区から
出して
まった
人が子

どもを連れて里帰りしてくれたよう
で、予定していた人数より30人も増
えてしまい、嬉しい誤算でした」と
矢幡区長は、笑顔で話してくれた。

今年度、日生団地では、地区内で行う行事のほかに集会所の清掃に力を入れた。これまで集会所の清掃があまりされていなく汚れていたためであった。「地域内を明るくするためには、まずは皆が集まる場所をきれいにすることから始めようと思っただのです」と矢幡区長は語る。自治会総出で集会所の周りの清掃から集会所の壁の塗り替え、雨どいの付け替えなど全て自分たちで行った。その結果、集会所を使用する人たちも増え、集会所の庭で遊ぶ子どもも増えたという。人を集めるのではなく、集まる場所を提供することで成功した例といえるのではないか。

「日生団地いきいきサロン」の今後の課題は、もっと高齢者の出席率を上げることだという。「地区内にはまだ、いきいきサロンに参加をしていない人が多くいます。こういった人がひとりでも多く遊びに来てくれるように、子ども会や民生委員とも協力していきたいと考えています」と矢幡区長は語ってくれた。

おと山歴史教養 文化財シリーズ213 やぶさめサミット余話② ～流鏝馬と占い～

昨年行われたやぶさめサミットでは、毛呂山町の出雲伊波比神社の流鏝馬を含めて9団体が参加しました。映像による各地の流鏝馬の紹介もあり、また、同時に開催された『やぶさめ交流展』では、それぞれの衣装、特徴的な笠、烏帽子なども展示され、一口で流鏝馬といっても多種多様であることがわかりました。

地域の人びとによって行われる流鏝馬には、騎射儀礼に民俗行事的な意味合いを持つものがあります。今回サミットに参加した地域でも流鏝馬によって豊凶、吉凶を占うものがありました。

的の中の具合で占う流鏝馬

千葉県鴨川市の吉保八幡神社の流鏝馬では、馬場から15メートル以上離れた田の中の的を立て、1から3の的的の中の具合によって早稲、中稲、晩稲を占うものです。栃木県

小山市の篠塚稲荷神社の流鏝馬も同様に農耕儀礼と結びつき、流鏝馬で適種を占うものでした。

馬の足あとで占う流鏝馬

一方、山梨県富士吉田市の小室浅間神社では、射的ではなく流鏝馬によって馬場に残された馬の足あとで火難を占うものです。馬が走るたびに世襲の占人が馬場の足あとを吟味し、占いの結果を記した占表を後日、氏子の集まるお日待ちで発表します。

守られる流鏝馬の伝統

かつて養蚕地帯であった毛呂山町の出雲伊波比神社の流鏝馬でも的に当たると蚕も当たるといわれ、人びとは、当たり矢を競って拾ったとい

います。

時代とともに各地の流鏝馬をとりまく環境も様変わりしていますが、占い行事を行い、今なお農耕儀礼としての一面を残し、あるいは語り継がれながら伝統行事は守られています。



鴨川市吉保八幡神社 流鏝馬的